



グローバル時代の教育

駿台甲府の英語教育と異文化体験、6教諭と有識者が語る

学校法人駿台甲府学園（甲府市塩部2丁目、田口浩一理事長）は、児童・生徒をこれからのグローバル社会に必要な真の国際感覚と英語力を身に付けた人材に育てることを目指して、さらなる教育環境を整えている。そのためのグローバル教育の柱は、「読む・聞く・書く・話す」の英語4技能をバランスよく伸ばすことと、日本文化を再認識し、外国の文化に触れることという。そこで駿台甲府小中高ではどのように取り組んでいるのか。小中高の教員に聞いてみた。また、2021年度入試から始まる新しい大学入試制度の英語試験について駿台教育研究所（東京）事業推進部次長の渡辺正彦氏に聞いた。

楽しんで学ぶ姿勢芽生える 駿小 速読演習で「英語脳」を養う 駿中 ネイティブ教諭も受験指導 駿高

駿台甲府では児童・生徒の英語力をどのように伸ばしていますか。
河崎 駿台甲府小中高では長年、ネイティブ教諭の授業を多く取り入れ、世間一般的にはあまり授業に取り入れられてこなかった英語の「話す」力を伸ばしてきました。児童・生徒が英語の民間試験を積極的に受ける方針を掲げ、小中高の各レベルに即して、全員が英検やGTECを定期的に受けるようにし、英語力を伸ばすための指導にしています。小中高各校の英語授業の特色は、また、どのような効果を感じていますか。



駿小では、1年次から英語の授業が週3時間あります。小3までは、ネイティブ教諭の授業を中心に据え、英語カードゲームをしたり、歌を歌ったりして、まずは英語を身近に楽しく感じ、話そうとする感覚を養うことに重点を置いています。小4からは文法を学びます。児童は英語を話してみるのが楽しいという姿勢が芽生えている気がします。
鹿山 駿中では英語の長い文章を、時間を設定して短時間で読解する演習を通して、速読力を付けています。駿中では英語の長い文章を、時間を設定して短時間で読解する演習を通して、速読力を付けています。
河崎 駿中では英語の長い文章を、時間を設定して短時間で読解する演習を通して、速読力を付けています。
マギル 駿高では大学入試対策を重視しています。英作文とリスニングに力を入れ、ネイティブ教諭だからこそ教えられる英語の言い回しや単語の組み合わせなどを細かく指導しています。小中高の校内にそれぞれ「English Center」があります。



駿高生と交流する現地の生徒と現地の先生たち



駿高では、3年次に駿高へ2週間のホームステイをする機会を提供し、異文化を体験します。英語を生かした仕事に就きたいという動機づけになるなど、あらゆる面で大きな経験になっています。
河崎 駿高では、生徒の研修旅行や短期間の語学研修で、米国やカナダなど英語圏の国へ行く機会を提供しています。外国の文化に触れることは日本文化を知ることに繋がります。英語を実際に話してみることが、その時の感動を得られます。小中高での経験がその後の人生に好影響をもたらすものと確信しています。
 （文中敬称略）

「アンダーヒル」小中高の各段階のレベルに合わせ、英語力向上が期待できる英語のアニメや映画のDVDをそろえ、放課後に毎日のように来て、楽しんでみる児童もいます。中学生はより実践的に英語検定の2次試験やスピーチコンテストの練習に訪れています。
マギル 駿高生は昼休み、放課後にスピーチコンテストや英会話の練習に訪れています。校外では学んだ英語を話せる機会がなかなかありませんので、楽しみながら知識の定着が図れると思います。
長澤 6年生の希望者は、清里の学園施設で2泊3日の「英語キャンプ」に参加し、米国の大学生と英語で交流します。限られた時間ですが、3日間だけでも英語漬けの生活を送ることで、これがかぎって英語が好きになったり、外国に興味を持つたりする児童もいます。



駿台教育研究所 事業推進部次長 渡辺正彦氏

学習環境、授業がより重要に

21年度入試から「話す」技能が評価対象
 「2021年度入試から、大規模な試験では評価ができていない『話す』技能（スピーキング）も評価する」ということが大規模な民間試験を活用することにより実現します。4技能を評価するために民間試験を活用する理由は、
 「大学入試センターが4技能入試センターが作成する英語の試験に加え、『読む・聞く・書く・話す』の4技能をすべて評価するため、英語の民間試験を一人の『話す』力を見極めるのに活用することになります。特に、現状では物理的に不可能で、同センターを通じて大学側に結果が通知され、合格判定などに使われます。なぜ4技能が重視されるようになったのですか。
 「グローバル化が進む現代では、経済活動は世界規模で行われ、世界共通語である英語の4技能が使いこなせることが必須条件となりました。一方、現在の大学入試は、『読む』技能（リーディング）が中心です。センタートレーニング」が中心です。センター試験や一部の大学の試験で「聞く」技能（リスニング）があり、記述式試験を採用している大学で「書く」技能（ライティング）が試される程度です。高校の授業は入試対策が中心となり、特に「話す」技能が伸ばせません。このままでは、これからの社会に必要とされるグローバルな人材を育てることが困難です。文科省が改革に踏み切ったというわけですね。
 「試験の対策法は、もちろん試験の特性に応じた対策が必要ですが、学校の授業で英語力を磨ける、4技能試験対策の土台ができていくことが重要です。文科省の現在の学習指導要領では、高校では英語の授業は英語で行うことが基本とされています。また2020年度から、小学校高学年から『外国語活動』が必修化されます。いずれも英語の授業を通して『聞く』『話す』『読む』『書く』の4技能を伸ばすことが重要です。だから、各教科現場では4技能が身に付くように指導されています。」

ロバート・クラウダー賞を受賞 美テ科3年・広瀬さん

第39回山梨県人会の特別賞ロバート・クラウダー賞に駿高美術デザイン科3年の広瀬さん＝顔写真＝の油彩画「街」が選ばれた。広瀬さんが喜びを語った。
 「山梨日日新聞紙上で受賞を知り、ただただ驚きました」と笑顔を見せる。作品は自身の頭の中にイメージとして湧き上がってきた街を描いた。「雨をためた道路が、街の景色を映し出しているところやビルの窓の光がうまく表現できました。遠景の橋をぼかして描くことで、作品に遠近感が出せました」。絵が好き
 （企画・制作／山梨日日新聞社広告局）



広瀬さんの作品「街」(油彩、F30)

駿台甲府小学校 TEL 055-244-0411
一般入試出願始まる!!
 【出願期間】～11月29日(木)【試験日】12月1日(土)

駿台甲府高等学校 普通科 TEL 055-253-6211
県民の日 オープンキャンパス11月20日(火)
 【時間】9:15～ 10:15～ 11:15～ (各回同一内容)
入試説明会11月24日(土)・25日(日)
 【時間】10:00～ 14:00～ ※両日、いずれの時間とも同一内容。個別相談も承ります。

駿台甲府中学校 TEL 055-243-5200
専願入試出願始まる!
 【出願期間】11月30日(金)～12月7日(金)【試験日】2019年1月12日(土)
選抜入試 【出願期間】2019年1月15日(火)～1月18日(金)
 【試験日】2019年1月20日(日)

駿台甲府高等学校 美術デザイン科 TEL 055-241-5311
入試説明会12月2日(日)【時間】9:30～
12月19日(水)～12月24日(月)
美術デザイン科展 (県立美術館 県民ギャラリーA・B)

自分らしさを見つける、もう一つの高校
駿台甲府には 通信制高校があります

各自の希望で学習形態が選べます
 ◆登校は最小限にとどめ自分の時間を有効活用するタイプ
 ◆登校学習や集中講座を受け規則的な生活を目指すタイプ

駿台グループが学習・進学を全面的に支援します
 ◆映像講座「サネット21」の視聴や進路学習
 ◆各種講演・進路ガイダンスを実施

通信制で大学進学をめざすなら駿台
 転入・編入生随時募集
 前籍校の単位を生かすことができます。お問い合わせください。

駿台甲府高等学校通信制課程
 〒400-0845 山梨県甲府市上今井町884-1
 お問い合わせ先 ☎0120-17-1524